会計のプロフェッショナルを養成する専門職学位課程が
今年4月に誕生します。
アカウンティングマインドを備えた会計専門家を養成します。

今年4月開設／特集2

大学院ビジネス研究科
会計専門職専攻を開設

会計職業人を養成するための大学院

平成17年4月に、現代ビジネス社会に必要とされる高度な知識や問題解決能力を身につけた人材を育成することを理念として、ビジネス学部を基礎とする大学院、ビジネス研究科博士課程が発足しましたが、専門職大学院という新たな大学院の制度が始まったのを期に、今回、ビジネス研究科に新たな専攻として会計専門職専攻（専門職学位課程）を開設することとなりました。

会計専門職専攻は、研究者養成を念頭に置いた従来型の研究科（博士課程）とは異なり、高度な専門的能力を有する会計人を育てることを目的とする大学院です。

会計専門職大学院が必要とされる理由

現代社会はさまざまな領域で細分化された高度な知識や専門能力をますます必要とするようになっています。このことは会計の領域にもあてはまります。巨大な資本がグローバルに移動する今日の社会において、会計はますますその重要性を増しており、それに伴い、社会は会計に係わる高度な専門能力や会計倫理を備えた人材、いうなればアカウンティングマインドを備えた人材をますます必要とするようになっているのです。ところが、米国等に比べ、わが国における有資格会計職業人の数が少ないことが指摘されており、有資格会計職業人の不足が新しい時代の経済発展を阻害する要因になりはしないかという懸念がもたれています。健全な資本市場を維持するうえで、アカウンティングマインドを備えた人材を輩出することが急務となっているのです。

会計専門職専攻の特色

会計教育を行う大学院は全国に数多く存在します。東海圏だけに限ってもいくつもの大学院が設置されています。ですが、従来型の大学院に求められていたのは、専門分野を深く研究することでした。いうなれば研究者養成型の大学院です。もちろん、研究に重点を置く大学院が必要である事はまちがいありません。

ですが、会計という実践的な分野が発展するためには、理論面の研究能力と実務面での高い能力をもった人材を育成しなければなりません。というのも、めまぐるしく変化する今日においては、企業会計においても新たな事象や規制の変化に柔軟に対応することが求められ、そのためには単に多くの会計の知識を備えているだけではなく、新たな会計問題を自ら考え解決するとともに、グローバル

大学院ビジネス研究科

大学院
ビジネス研究科

ビジネス専攻博士前期課程（修士課程）
入学定員20人

ビジネス専攻博士後期課程（博士課程）
入学定員5人

会計専門職専攻（専門職学位課程）
入学定員30人

専攻主任からのメッセージ

アカウンティングマインドを
備えた人材を養成

ビジネス研究科
石川雅之教授

合 併や買収などを通じた世界規模での企業再編が活発になっている今日のビジネス社会においては、信頼しうる会計情報が不可欠です。信頼しうる会計情報なしには、資本の移動も企業再編も行いえないからです。

会 計情報を信頼しうるものにするための方法として、公認会計士による財務諸表監査があらゆる国で採りいれられていますが、財務諸表監査を担う公認会計士には高度な会計知識だけでなく高い職業倫理も求められます。

数 年前に米国で大企業の粉飾が相次いで発覚した際には会計不信といわれる深刻な事態を招きました。また昨今わが国でも上場企業の粉飾が発覚し、経営者を含め、会計に携わる人々のモラルが改めて問われることとなりました。こうしたことから、会計の重要性が改めて認識されています。そうした状況の中で、今求められているのは、会計に係わる適切な判断を行える人材、すなわちアカウンティングマインドを備えた人材ではないでしょうか。

今 日の経済社会がさらに発展していくためには、高度な会計知識と技能を身につけるとともに論理的思考力と倫理的判断力を備えた会計専門家を養成することが必須の課題であるともいえるのです。本会計専門職課程では、アカウンティングマインドを備えた人材の輩出を目指します。

な規制の変化にも対応しうる能力、適切かつ適法な判断を行える能力をもつ人材が必要とされるからです。そうした要請に応える人材を輩出するためには、従来の教育だけでは十分ではなく、実務と理論の双方について深く掘り下げるような教育が必要とされるのです。

しかも、近年企業会計に係わる不祥事が相次いだことから、今日では会計職業倫理というべきものも求められています。本専攻では必修科目として、会計職業倫理という講義を開設し、倫理面からも会計人教育を行います。

ただし、会計専門職専攻といっても、単に会計の実務能力を高めることを目的とするのではありません。現代会計の実務上の問題をケース・スタディ等を通じて学ぶとともに、現代会計を理論的に捉えることを通じて、社会の変化によって新たに生じる問題にも対応できる能力の涵養を目的としているのです。したがって、有資格会計職業人の育成だけを目指すのではなく、さまざまな分野で必要とされるアカウンティングマインドを備えた人材を輩出したいと考えています。

カリキュラムは、大別して、財務会計系科目、管理会計科目系及び監査系科目からなる「会計領域」、企業法系科目および租税法系科目からなる「法律領域」とその他広くビジネスに関する科目からなる「ビジネス領域」という3つの領域の科目から構成されています。いずれの領域も企業会計を理解する上で必要な科目を取り揃えています。その他の領域に属する科目はありません。まさに、会計を専門とする大学院なのです。

●お問い合わせと願書等の資料請求先●

愛知淑徳大学 企画室 入試広報部門

〒464-8671　名古屋市千種区桜が丘23
TEL　(052) 781-7084（直通）
ホームページアドレス　http://www.aasa.ac.jp
E-mail　kouhou@asu.aasa.ac.jp